処理概要

EDIシステムからファイル送信される受注データをEBSに取り込む

①受注データの取込

・受注データ取込処理により、EDI情報テーブルに取り込む

但し、上記処理にてエラーとなる場合、正常データも含めファイル単位で取り込まない

(エラー処理内容は未定義)

・受注OIFへの取込処理により、受注OIFテーブルに取り込む

・受注インポート処理により、受注テーブルに取り込む

※但し、例外あり

受注データを売上計上に繋げず参考情報として帳票出力する場合は、EDI情報テーブルに取り込み後、 必要に応じて帳票サーバへ連携する

システム利用者

システム管理者(自動起動)

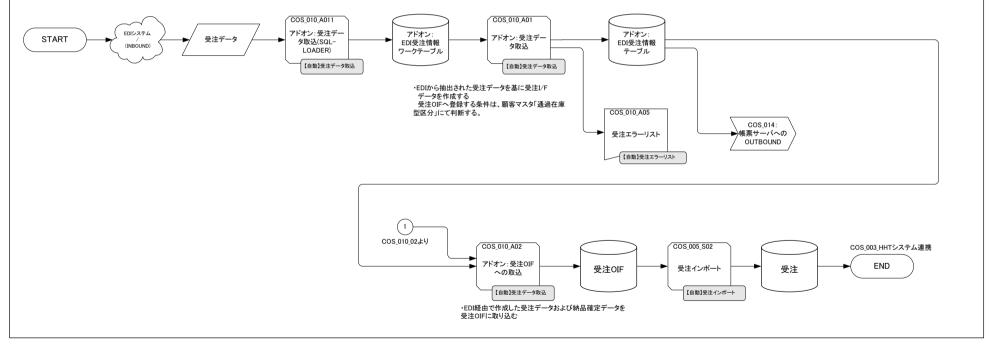
処理タイミング、その他

受注データ取込処理は、EDIシステムからファイルが送信される都度、実行する

(リアルタイム連携が必要)

システムプロセスフロ一記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、 $(\rightarrow \textcircled{1}/\textcircled{1}\rightarrow)$ のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:





処理概要

EDIシステムからファイル送信される納品確定データをEBSに取り込む

②納品確定データの取込

・納品確定データ取込処理により、EDI情報テーブルに取り込む

・上記処理にてエラーとなる場合、伝票単位で取込まない。

但し、商品コードエラーの場合は、ダミー品目にて取込む

・納品確定データ取込(出荷データ作成)処理により、販売実績テーブルに取り込む

※但し、例外あり

納品確定データを売上計上に繋げず参考情報として帳票出力する場合は、 EDI情報テーブルに取り込み後、必要に応じて帳票サーバへ連携する

システム利用者

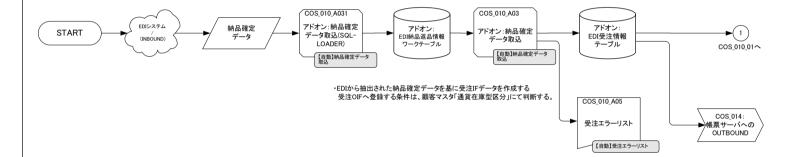
システム管理者(自動起動)

処理タイミング、その他

納品確定データ取込処理および後続処理は、起動時間を設定し定時実行する(実行間隔は一時間を想定)

システムプロセスフロ一記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・1/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、 $(\rightarrow \textcircled{1}/\textcircled{1}\rightarrow)$ のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

